

夏休みこそ学校ではできないことにチャレンジ

校長 前田 浩二

いよいよ待ちに待った夏休みが始まります。今年はいつもより多い44日間です。せつかくの夏休みですので、この44日間の中で、学校ではできない体験活動にぜひチャレンジしてほしいと思います。

私の娘は小学校6年生の夏休みに、ある少年自然の家が主催した体験活動に参加しました。それは、10日間かけて、錦江湾をカヌーで1周するという企画でした。宿泊場所は行く先々の小学校とテントです。食事自分たちで作ります。かなりハードな企画でした。

本番初日の朝、少年自然の家に送り届けるときに、不安げな娘の表情を見て、こちら心配になりました。娘はカヌーに乗ったことありませんし、参加者に知り合いは一人もいません。娘を一人残し、後ろ髪を引かれる思いで帰りました。それからの10日間、電話はおろか、途中の様子を知るすべは全くありませんでした。

やっと10日間が過ぎ、不安を抱えながら娘を迎えに行くと、びっくりしました。出発前と娘の様子が全く違うのです。真っ黒に日焼けして、髪の毛はぼさぼさな上、Tシャツはよれよれでした。おまけに娘に近づくと、すごい臭いがしました。きれい好きだった娘は一体どこに行ってしまったのだろうと思いました。しかし、そんなこと全然気にしないという様子で、真っ黒な顔でにこにこ笑っています。よほど楽しかったのでしょう。他の参加者とも屈託なく冗談を言い合っていました。帰りの車中では、娘がずっとしゃべっていました。潮流の関係で漕いでも漕いでもカヌーが進まなかった苦労話やおもしろい友だちのこと。小学校の体育館で寝たことや手洗いで洗濯したこと。生乾きのTシャツや汗臭さもだんだん気にならなくなったこと。そして、大海原の美しさなど、とめどなく話は続けました。私は車中に漂う臭いを我慢しながらも、得意気にしゃべる娘の少しだけたくましくなった姿に、心の底から参加させて良かったと思いました。そして、その年の冬には、高隈山を縦走する体験活動に自分から申し込む娘の姿がありました。

本校では、この夏休みにかつおの一本釣りや稚内への交流活動、きばらん海の踊りや神輿、モニュメント制作やボランティアに参加する生徒がいます。その他まだまだ多くのことができます。夏休みこそ学校ではできないことに、チャレンジさせるチャンスです。そのためには保護者の方々が、子どもの背中を押してあげて、一歩踏み出すきっかけをつくることも大事です。体験活動によってきっと、何か得るものがあると思います。

受賞おめでとうございます

◇市民あいさつ運動標語◇

- 最優秀賞 1年 立石 幹太
- 優秀賞 1年 松田 一伸
- 3年 内匠 莉花
- 優良賞 2年 西薊 智明
- 3年 米崎 媛恋
- 佳作 2年 大園 拓海

◇南薩地区体育大会◇

- 〈バドミントン〉
- 女子個人戦ダブルス高校生以下の部
- 優勝 上村 陽芽奈・庭月野 萌
- 〈空手道〉
- 形 個人戦 中学生の部
- 第2位 2年 池上 元

立神の如く

自分を好きになる

1年学年主任・数学担当 黒川 亮介

「世界で一番嫌いな人は？」

中学生の頃の自分にこの問いかけをしたら、間違いなく「自分自身」と答えるだろう。

幼少期は「自分は特別な存在で世界は自分を中心に回っている、やりたいことは何でもできる」と本気で考えていた。しかし、体が大きくなり、中学生になる頃には逆に「自分がいかにちっぽけな存在なのか」ということを思い知らされた。勉強ができて、スポーツができて、みんなから慕われている、そんな「理想の自分」と「現実の自分」はかけ離れていた。

意志が弱く、目標を立てても長続きせず、周りからどう思われているのかが気になって自分のやりたいことができなかった。友達や先生、親の前では取り繕うように「嘘の自分」を演じていたが、自分にその嘘は通じない。そういう負の連鎖から自分のことがどんどん嫌いになっていった。

そんな自分嫌いの私が高校に入学し転機を迎える。高校時代は陸上部に入り、部活三昧の生活だった。逃げ出したくなるくらいきつい練習に追われる日々で毎日が地獄だった。残念ながら目標としていた全国大会へは出場できず、夢半ばで引退を迎えるのだが、不思議とその時の気分は清々しかった。それはきっと部活動を最後までやり遂げたことで「自分って結構やるじゃん」と自分を認めることができたからではないかと思う。

中学校を卒業し二十年ほど経った今、自分のことを嫌いと思うことはなくなった。意思が弱く、周りの目が気になるのは相変わらずで「理想の自分」にはまだまだほど遠いが、それ以上に自分の良いところに気づけるようになった。目覚まし鳴る前に起きた、落ちていたゴミを拾った、給食に入っていた苦手な野菜を残さず食べた、ささいなことだが、それを積み重ねていくと、ちょっとだけ自分を褒めてあげようという気持ちになる。

そして、いつの日か「世界で一番好きな人は？」と聞かれたときに胸を張って「自分自身」と言えるようになりたいと思っている。

合唱コンクール「7月7日」

歌声と心をつなげて創り上げたすばらしいハーモニー



3年1組 最優秀賞



3年2組 優秀賞



2年1組



1年1組

ふるさと枕崎市70歳誕生日コンサート「7月12日」



3年生の中原凛香さんがお礼の言葉を述べました

花育てリレー参加～燃ゆる感動かごしま国体に向けて～



枕崎市弁論大会「7月10日」

自らの思いを 自らの言葉で表現した力強い発表



最優秀賞 石場 きらら さん



優秀賞 小湊 琉奈 さん

- 7月21日(日) 中体連県総体(～24日)
- 25日(木) カッター練習
- 26日(金) PTA踊り練習
- 29日(月) 立神神社六月灯
- 31日(水) PTA踊り練習
- 8月1日(木) 出校日 小中合同芋畑除草
- 2日(金) PTA踊り練習
- 稚内市交流事業(～5日)
- 3日(土) 港まつり踊り連
- サッカー大会・野球大会
- 4日(日) 港まつり カッター大会
- 15日(木) 青バの日
- 21日(水) 出校日 小中合同芋畑除草

- 8月25日(日) PTA親子奉仕作業
- 9月2日(月) 始業式いじめ問題を考える週間
- 3日(火) 3年実力テスト(～4日)
- 6日(金) いじめ問題を考える授業
- 9日(月) 朝の声かけ(1-1)
- 12日(木) SC来校(午後)
- 13日(金) 朝の声かけ(1-1)
- 15日(日) 第26回体育大会
- 17日(火) 振替休日 体育大会予備日
- 24日(火) 朝の声かけ(3-1)
- 25日(水) PTA理事会
- 27日(金) 朝の声かけ(3-1)